

当院にて重度手部外傷後の腱癒着または拘縮に対して腱剥離術を受け、術後疼痛管理として前腕部CPNBを施行した患者さんへ

(臨床研究に関する情報公開)

当院では以下の研究を実施しております。この研究は、患者さんの情報を用いて行ないます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先までご連絡ください。また、対象となる患者さんで研究に情報を使用されることを拒否したいと思われた方は『臨床研究登録拒否通知書』の提出により研究の対象とはしないようにいたします。

研究機関名：JA北海道厚生連 帯広厚生病院

研究責任者 医療技術部作業療法技術科 山本 和洋

【研究課題名】

重度手部外傷後の腱癒着症例に対する前腕部持続末梢神経ブロックを用いた受動術の成績：5例報告

【研究の目的】

本研究は、前腕部持続末梢神経ブロック（CPNB:continuous peripheral nerve block）を併用した腱剥離術後リハビリテーションの有用性および問題点を明らかにし、重度手部外傷患者の機能回復を促進するための治療方法の確立に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2018年4月1日から2026年3月31日までに帯広厚生病院において、重度手部外傷後の腱癒着または拘縮に対して腱剥離術を受け、術後疼痛管理として前腕部CPNBを施行した患者

●使用する試料・情報の項目

研究対象者について、下記の情報を診療録より取得する。

- ・年齢、性別、利き手、受傷部位などの患者背景
- ・初回損傷内容および損傷の重症度
- ・腱剥離術の内容
- ・疼痛評価（VAS）
- ・手指可動域（TAM）
- ・上肢機能評価（Quick-DASH）
- ・合併症の有無

また、CPNBを用いた術後リハビリテーションに関する過去の報告について、文献検索（scoping review）を行い、本治療法の有用性や課題について検討します。

【研究実施期間】

倫理審査委員会承認後～2028年3月31日まで

【個人情報の取り扱い】

研究に利用する情報からは、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は当院ホームページに掲載されている『臨床研究登録拒否通知書』を当院3階事務室内 医事課 倫理審査委員会事務局にご提出ください。

<問い合わせ・連絡先>

〒080-0024

北海道帯広市西14条南10丁目1番地

JA北海道厚生連 帯広厚生病院

研究責任者 医療技術部作業療法技術科 山本 和洋

電話：0155-65-0101（平日：8時 30 分～17 時 00 分）

<臨床研究登録拒否通知書 送付先>

〒080-0024

北海道帯広市西14条南10丁目1番地

JA北海道厚生連 帯広厚生病院

3階事務室内 医事課 倫理審査委員会 事務局